



「障がい」を 考えてみませんか

「障がい」について理解を深める本を厳選しました。
道内では、約50万人の障がいのある方が地域で暮らしています。
この機会に「障がい」について考えてみませんか。

※本コーナーは㈱三省堂書店と北海道の包括連携協定により設置しています

障がい者理解促進関連図書一覧

No	表紙画像	名称/著者/出版社/価格	No	表紙画像	名称/著者/出版社/価格	No	表紙画像	名称/著者/出版社/価格
1		きつおんガール 小宮 おの 合同出版 ¥1,400	5		なぜ人と人はまます合りのか 渡辺 一史(著) 合同書房 ¥880	9		伴走者 仲末 登 実生 暢(著) 講談社 ¥680
2		Shrink—精神科医ヨワイ— 著: 月子 原京: 七尋 仁 集英社 ¥600	6		こんな夜更けにバナナかよ 渡辺 一史(著) 文芸春秋 ¥600	10		プロテインなしでベンチプレス150kgを挙げる方法 佐藤 均隆(著) 東京図書出版 ¥900
3		いのちのカプセルはのう？ 岡田 なおこ(著) ゆ文社 ¥1,600	7		ぶかぶか動物園 高橋 明(著) 現代書館 ¥1,700	11		ろどう犬ババ セア まり(著) 平塚 勝子(他) ポルポ出版 ¥1,500
4		「お手伝いしましょうか？」 うれしかった、そのひとこと 著: 高橋 りほ 他: 宗敏 講談社 ¥1,450	8		障がい者だからって、嫌さがないと怒りなよ。 足崎 まさのり(著) 研英社 ¥1,364	12		盲導犬の物語 只田 敏子(著) 大庭 秀敏(著) 講談社 ¥680

※設置図書は在庫状況などにより変更する可能性があります。予めご了承ください。

特設コーナー関連図書一覧（1）

No	表紙画像	名称／著者／出版社／価格	内容 ※「BOOK」データベース等から抜粋
1		きつおんガール	吃音で苦しんでいる人に伝えたい、「吃音があったって」「きれいに、話せなくて」思いは相手に伝えられる。
		小乃 おの	「あ、あ、あ……（ありがとう）」うまく言葉が出てこない……。小学生の時、音読の順番が回ってくるのが怖かった。なぜ吃音のある私が、コミュニケーション中心（！）の社会福祉士という仕事を選んだのか。
		合同出版	吃音で悩んでいたときのこと、言葉がスムーズに出せない感覚、恩師の言葉、社会福祉士としての仕事——。
		¥1,400	吃音と生きてきた私の物語。
2		Shrink～精神科医ヨワイ～	パニック障害、うつ病、発達障害——。隠れ精神病大国と呼ばれる日本は、その名の通り、精神病患者の数自体は、アメリカ等と比べると少ない。その一方で、自殺率は先進国の中でも最悪レベル。悩んでいても“精神科は特別なところ”という思いこみが、人々の足を遠くかせてしまう……。
		著：月子 原案：七海 仁	精神科医・弱井は、そんな日本の現状を変えていき、一人でも多くの“心”を救うべく、こう願う。
		集英社	「僕はこの国に、もっと精神病患者が増えればいいと思っています」
		¥600	
3		いのちのカプセルにのって	身体に障害があり支援学級に通っているあかりは、外に出るのが好きではなく、なんでも「どうせできないよ」と思いがち。子犬のマモルとであったことをきっかけに、友だちに心を開きはじめる。
		岡田 なおこ（著）	また、散歩でであった、同じ障がいをもつおばあさんと知りあい、自分を見つめなおす…。
		汐文社	
¥1,600			
4		「お手伝いしましょうか？」うれしかった、そのひとこと	街で出会う、障害のある人やお年寄り、赤ちゃんを連れた人を手伝ってあげたいと思うことがあります。でも、どうしたらいいかわからず躊躇してしまうことが多いものです。声掛けやお手伝いの方法を知っていたら自信をもってできるのでは？方法を学びながら、当事者の事情や気持ちにも寄り添い考える内容で、小学生向けですが、大人もいっしょに読んでほしい本です。
		著：高橋 うらら 絵：深蔵	
		講談社	
¥1,450			
5		なぜ人と人は支え合うのか	『こんな夜更けにバナナかよ』から15年、渡辺一史最新刊！ ほんとうに障害者はいなくなった方がいいですか？ 今日、インターネット上に渦巻く次のような「問い」にあなたならどう答えますか？ 「障害者って、生きてる価値はあるんでしょうか？」 「なんで税金を重くしてまで、障害者や老人を助けなくてはいけないのですか？」 「自然界は弱肉強食なのに、なぜ人間社会では弱者を救おうとするのですか？」
		渡辺 一史（著）	気鋭のノンフィクションライターが、豊富な取材経験をもとにキレイゴトではない「答え」を真摯に探究！ あらためて障害や福祉の意味を問い直す。
		筑摩書房	
¥880			
6		こんな夜更けにバナナかよ	鹿野靖明、34歳。 難病の筋ジストロフィー患者で、一人では寝返りも打てない。だけど、自由に生きたい！ 自ら集めたボランティアに支えられての自宅暮らしはわがまま放題。バナナが食べたくなったら、たとえ真夜中でも我慢しない。 病院で、天井を見つめてただ生きているだけなんて、意味がない。
		渡辺 一史（著）	そのわがままは命がけだった。
		文藝春秋	原作は、大宅賞、講談社ノンフィクション賞をW受賞した傑作ノンフィクション。
¥600		壮絶ながらも、命の輝きに満ちた日々を描く笑って泣ける話題の映画のノベライズ版。	

特設コーナー関連図書一覧（2）

No	表紙画像	名称／著者／出版社／価格	内容 ※「BOOK」データベース等から抜粋
7		ぶかぶかな物語 高崎 明（著） 現代書館 ¥1,700	「障がいのある人たちとは一緒に生きていった方がトク」というメッセージを様々な形で発信し、障がいのある人もない人も、お互いが暮らしやすい地域を作る。そんなNPO法人「ぶかぶか」の日々の積み重ねから豊かな社会が見えてくる。「共に生きる」という総論には賛成でも、近くに障害者施設ができると「地価が下がる」「何が起きるか心配」などの偏見から反対運動が起きる。相模原障害者殺傷事件に象徴されるように障害のある人たちが排除されがちな社会にあって、「ぶかぶかさん（利用者をこう呼び）が好き！」というファンを増殖させ、障害のある人と一緒にいた方が楽しいと思わせてくれる、ぶかぶかさんたちの魅力あふれる一冊。
8		障がい者だからって、稼げないと 思うなよ。 姫路 まさのり（著） 新潮社 ¥1,364	低賃金が当たり前って、おかしくない？ 誰にとっても大事な、自立のための「お金」の話。働いて、自立したい！ そんな「当たり前」を実現させた、障害のある人たちが働く「成功企業」があった！ 行列の絶えないフレンチレストラン、年商2億円に届いたクッキー工場、重度障がい者を主力とするコンピューターハウス、人気のワイナリー等々。5万円で生活が、8万円で未来が、10万円で働き方が変わる！ 実際の盲導犬ユーザーが書いた絵本で、一読すると、盲導犬の仕事はなにか、ユーザーと盲導犬の関係はどんなものかなどがわかります。最後に解説つき。
9		伴走者 浅生 鴨（著） 講談社 ¥680	「お前は伴走者だ。俺の目だ」 伴走者とは、視覚障害者と共に走るランナーである。「速いが勝てない」と言われ続けた淡島は、サッカーのスター選手として活躍しながら事故で視力を失った内田の伴走者として、パラリンピック出場を賭け国際大会で金メダルを狙う。アルペンスキーのガイドレーサーを描く「冬・スキー編」も収録。解説・川越宗一。
10		プロテインなしでベンチプレス150kg を挙げる方法 佐藤 芳隆（著） 東京図書出版 ¥900	継続は力なり！トレーニングを始めて7年、プロテインなしで150kgを挙げる！ そして世界選手権出場！ 2000年に事故に遭い、車いすの生活に。手術・入退院を繰り返す。サラリーマン生活の中でトレーニングを始めたきっかけは健康のためだった。どのようなトレーニングをしたのか詳細に纏めた。
11		もうどう犬ベェベ セア まり（著） 平澤 朋子（絵） ほるぷ出版 ¥1,500	ベェベは、いつもこまった顔をした犬です。でもじつは、「もうどう犬」という、特別な犬なのです。もうどう犬は、見えないひとといっしょに歩いて、目のかわりをする犬のこと。道にある障がい物をよけて、見えない人が安全に歩けるようにするのです。ほとんど目が見えないメグは、ベェベといっしょにくらすようになってから、毎日いろいろなこと挑戦するようになりました……。
12		盲導犬引退物語 沢田 俊子（著） 大庭 賢哉（著） 講談社 ¥680	人のために働く盲導犬。10歳ごろには引退します。年取った盲導犬は、だれがめんどうを見ているのでしょうか？ どんな生活をしているのでしょうか？ 学校でいじめられていた女の子に寄り添ったバルダ／犬嫌いな家族をかえたグレッグ／引退した犬を順番に12頭も引き取った人の話、など6つのお話が入っています。